

## 県内報道機関 各位

成瀬ダムをストップさせる会は、参議院選挙告示日に秋田選挙区立候補者へ「成瀬ダム事業に関する公開質問状」を郵送し、回答を求めていましたが、このほど全員の回答がそろいましたので公表いたします。

質問内容は以下のとおり。

質問1 成瀬ダムの今後について次の選択肢の中から、公約として掲げるとき、最も近いものをお選びください。

- ① 成瀬ダム事業の必要性は変わっていないので、事業を継続して進める。
- ② 成瀬ダム事業の必要性は低いので、中止の方向で対応する。
- ③ 成瀬ダム事業についてはきちんとした検証作業を行った後、結論を出す。
- ④ わからない。

質問2 成瀬ダム事業に関して付け加えるようなお考えがありましたら、ご自由にお書きください。

質問3 今後あるべき国のダム（治水、利水）政策について、最も近いものをお選びください。

- ① 総合的にみて、治水、利水面でダムは依然として必要とされており、重要な公共事業として継続していくべきである。
- ② 治水、利水、自然環境、財政の面でも様々な問題が起きてきており、現在のダム計画は縮小する方向で見直すべきである。
- ③ ダム政策については、様々な意見が出てきているので、多面的な視点から時間をかけて検証していくべきである。
- ④ わからない。

参議院秋田選挙区立候補者の回答は以下のとおり。

石井ひろお氏 質問1 ①

質問2 昭和58年から調査に入った、治水、農業用水、生活用水、発電等の多目的ダム。本体関連工事は平成20年から着手され、平成29年度完成の予定。地域住民、自治体もそのように理解している事業。継続すべき。

質問3 ①（検証は当然）と③

藤田和久氏 質問1 ②

質問2 ダム予定地は貴重な自然環境、動植物の生息域であり、その破壊は許されない。ダム計画は、水の必要性、その量の過大な設定など大きな問題をもっている。治山、治水のあり方についても自然保護の観点から見直すべきである。莫大な税金の浪費である。

質問3 ②

鈴木陽悦氏 質問1 ③

質問2 （特になし。）

質問3 ③

以上

2010年7月2日

成瀬ダムをストップさせる会